

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（ A組： 務台・山田 ） （ B組： 務台・山田 ） （ C組： 務台・山田 ） （ D組： 務台・山田 ） （ E組： 務台・山田 ） （ F組： 務台・山田 ）

使用教科書：（ 実教出版 図説 家庭基礎 ）

教科 家庭 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|-----------------------------|-------------------------------|---|
| 生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につける。 | 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養う。 | 周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。 |

科目 家庭基礎 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 |

| 単元名・指導項目・内容 | 単元の具体的な指導目標 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 第1章 自分らしい生き方と家族 ・生涯発達する人生 ・これからの人生をデザインする ・青年期を生きる ・生活を支える労働 ・生活時間から見えてくるもの ・男女共同参画社会をめざして ・現代の家族、取り巻く社会環境の変化や課題 ・家族にかかわる法律 | 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫する。 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 | 【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解し、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 よりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき責任をもって行動することや、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 第2章 子どもとかわる ・子どもの誕生 ・発達（からだ、運動機能、知的、かかわりのなかで） ・子どもの生活習慣と健康 ・子どもの食生活、衣生活 ・子どもと遊び ・親になることを考えよう ・すこやかに育つ環境と支援 子どもを守る法律・制度 第3章 高齢者とかわる ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る、サポートと介護の心 ・高齢社会を支えるしくみ 第4章 社会とかわる ・共に生きるために ・社会保障制度 社会の一員としての私たちの役割 | 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。 イ 子供を生み育てることの意義について考えとともに、子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察すること 高年齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けること。 イ 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察すること。 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解すること。 イ 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察すること。 | 【知識・技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ・高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境等を理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 子どもの健全な発達のために親や家族・地域社会の果たす役割の重要性について、また高齢者の自立生活を支えるために家族や地域社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「子どもの生活と保育」また「高年齢期の生活と福祉」について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 第5章 食生活をつくる ・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 ・食品の選択と表示、衛生、食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準、食品群別摂取量のめやす ・献立作成 ・調理の基本、実習 | ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察、自己や家族の食事を工夫すること。 | 【知識・技能】 栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質・安全性について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 21 |
| 第6章 衣生活をつくる ・人と衣服のかかわり ・健康で安全な衣服 ・衣服素材の種類と特徴、性能と改善 ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理、 ・家庭での選択・保管 | ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができること。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 | 【知識・技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができること。 被服材料に配慮した被服材料選び、被服構成、被服衛生につ | | | | |

